

# ポルトープランスルポ

【ポルトープランス 庭田学】ハイチ大地震による土砂崩れで多数の家屋が崩壊した首都ポルトープランスのボアパタ地区。震災から4日目の15日、斜面に建てられた家々の多くは、谷に滑り落ちるようになり、1万人近くの住民のうち、4分の1が犠牲になったとも言われている。急な斜面に地震を想定しないまま家屋を密集させたことが、被害拡大の一因になったようだ。

「地下で爆弾が爆発したようだった。プオ



# 斜面の家 滑り落ち

「イン」という音とともに、地面の中から何かが飛び出してきたのかと思った」。ボアパタ

## ハイチ大地震

タ地区に住むブレスさん(70)は12日夕の地震発生時の様子をこう振り返る。体を前後左右に激しく揺さぶられて立っていられなくなり、気がついたら周囲

の建物が崩壊していたという。ブレスさんは息子(18)や妹ら親族3人を失った。

ボアパタ地区には中流家庭の家屋が建ち並んでいた。見た目は比較的しっかりした建

物のようでも、倒壊家の家を支えるには不十分だったようだ。尾根に上がると、ほとんど家が谷側に滑り落ち

# 30万人 自宅失う

国連 発表

【ジュネーブ伊藤智永】国連人道問題調整事務所(ОСНА・本部ニューヨーク、ジュ

ネーブ)は15日、ハイチ上空からの視察結果などをもとに、震災状況を発表した。被災地は人口280万人の首都ポルトープランスを中心に、約350万人が住む地域に及んでいた。ひどい場所では50%の建物が倒壊しており、約30万人が家を失ったという。

「要だ」と話している。国連児童基金(ユニセフ・本部ニューヨーク)では、地震で親とはぐれたり親を亡くした子供たちを保護するため、登録リストの作成を始めている。

現地では生き埋めになった被災者の救出作業が最優先課題になっている。欧米や隣国ドミニカ共和国などが相次いで救助隊を派遣しており、広報担当者は「救出チームの人員はこれで十分ははずだ。むしろ医師の数が足りない」と話している。

日本は医療団24人が現地へ

【ポルトープランス 庭田学、ニューヨーク 小倉孝保】ハイチ大地震で、ピアンエヌ内相は15日、既に約5万人の遺体を収容し、死者は約20万人に達する可

一方、世界食糧計画(WFP・本部ローマ)も15日、被災者200万人分を目標に今後6カ月間、食糧支援を行う方針を明らかにした。資金として米国から既に2000万ドルが提供されたほか、インターネットを通じて世界中から個人の寄付金も集まりつつある。担当者には「燃料や水がないので、調理せずにすぐに食べられる物が必

ハイチの救援活動のため、日本政府が派遣する国際緊急援助隊医療チーム24人が16日夜、成田空港からチャーター機で出発した。また、日本赤十字社の近衛忠輝社長(70)も同日、民間機で出発、後続の日赤医療チーム8

# 内相「死者20万人」

【ポルトープランス 庭田学、ニューヨーク 小倉孝保】ハイチ大地震で、ピアンエヌ内相は15日、既に約5万人の遺体を収容し、死者は約20万人に達する可

能力があると語った。ロイター通信が伝えた。ハイチでは12日の地震発生後、生き埋め被災者の「生存の限界」とされる72時間が過ぎ、人的被害の拡大が

懸念されている。最近の自然災害としては、約23万人の死者を出した04年のスマトラ沖大地震・インド洋津波に次ぐ規模になる可能性が出てきた。

